

児童発達支援事業所における自己評価結果(公)

公表:令和 6年 2月 5日

事業所名 Linkerアミ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個室対応や、運動スペースなど用途に応じた環境があり、定員人数以上にスペースがある。	
	2	職員の配置数は適切である	○		配置基準は常勤で満たし、パート職員も配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		個室や運動スペースなど用途に合わせた環境整備をしている。ビル内にはエレベーターも設置されている。	現状では問題ないが、今後バリアフリーが必要な利用者が利用する場合は、可能な限りその都度改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の朝礼で特記事項など振り返りを報告し、今後の対応等を検討している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意見はSNSでも個人的に伺えるようになっており、業務改善した場合はSNSで保護者全体に周知している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		事業所内の評価をシステムを構築していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修の機会があると情報を共有し参加できるシステムが出来ている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		細かな情報をその都度アセスメントするようにしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	個々に合わせたアセスメントを行い、より個別性が明確になるように評価している。	基本的なアセスメントに関しては標準化された方が評価や基準が統一されわかりやすいこともあるが、実際の生活の中での行動が見えにくい場合もあるので、あらゆる角度から状況を把握することで精度を高める。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画書に記載されているものはもちろんそれ以外にも細かく支援している。	細かな支援をどこまで記録しないといけないのかが問題。細かく書きたいが実質的な時間や労力に限界がある。今後の課題。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児童の個々の課題を事業所内で共有し、意見を出し合いながら立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		それぞれ個々の課題も変わってくるため、その課題に応じて毎回変化させている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	○		個別でアプローチが必要な場合は個別にアプローチできるようにしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼にて前日の課題などを振り返り、緊急時などは、その都度全体で情報共有している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気になる点は終了後に振り返り、共有する。翌朝の朝礼でも報告を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日記録をつけている。日報に特記事項や個別に気になったことをまとめるようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		ご家族や他機関のご希望を受けて、情報を事前共有しながら参画している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		関係機関と日常的に連携がとれるネットワークづくりをしたい。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		書面にて情報提供を行っており、必要な場合は、入園、入学時に関係者でケア会議を開催することもある。	課題やその後の経過、今後の方向性などを共有できるネットワークづくりが必要と考える。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		同上	同上
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		西宮の連絡協議会にて連携をとる機会があり、また他事業所と併用している児童もいるので、必要な際にその都度連絡をとっている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	守秘義務の問題もあり、行っていない。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		西宮の連絡協議会に参加している。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に保護者と顔を合わせてやりとりし、難しい場合や問題がある場合は電話でのやりとりも行う。	ご家庭によって連絡や相談の回数に差があるため、今年度はそれも改善していきたい。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		必要なお家庭に対して、児童やご家庭の状況に合わせた対応をお伝えしている。	より広く周知できるようなプログラムの導入を検討していく。
関係機関や保護者との連携	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用開始時に必ず説明を行っており、専門用語は控え、わかりやすい文言で不安を増幅しないよう注意している。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からだけでなく、事業所からも気になる点などはその都度伺い、情報共有をしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		イベントの際に保護者様が繋がれるように実施している。	これまでのイベントは継続させ、オンラインも含めてさらに増やして良ければと思う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		専用のSNSで、日常の様子や連絡事項を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		SNSの取り扱いには同意書を作成し、開示条件にあわせて、専用のSNSでのみ掲載している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもや保護者の置かれた状況を把握しながら対応している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		守秘義務の問題で、行っていない。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		保護者へ避難場所の情報提供をしている。	保護者様宛にも定期的にお便りや研修などの開催を検討する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		内容の変更があった場合はより注意深く確認し、記録を残している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		起こった場合は即座に作成し共有する。また、朝礼でも全事業所と共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待の定義や療育の内容や方法など、日々の対応から振り返り、共有している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		事例や場面を想定した内容を詳細に伝え事前説明を行い同意を得る。必要な場合には、記載もしている。	